

社会福祉法人　米原市社会福祉協議会

**平成２６年度**

**事業報告書**

目　次

|  |  |
| --- | --- |
| **平成2６年度　事業報告総括** | **１** |
| **１．地域をつなぐ活動・・・・・・・・・・・・・・・・** | **２ ～ ９** |
| （１）ニーズ・社会資源の把握と分析 | ２ |
| （２）ネットワークの構築 | ２ |
| （３）相談支援 | ３ |
| （４）広報・情報発信 | ４ |
| （５）福祉活動団体支援 | ４ |
| （６）当事者団体活動支援 | ５ |
| （７）福祉サービス事業者支援 | ６ |
| （８）地域福祉活動拠点の活用 | ７ |
| （９）善意銀行 | ９ |
| （10）赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 | ９ |
| **２．地域の福祉力を高める活動・・・・・・・・・・・・** | **１０～２０**  |
| （１）小地域福祉活動の推進 | １０ |
| （２）ボランティア活動の推進（ボランティアセンター） | １４ |
| （３）福祉学習・啓発 | １７ |
| （４）福祉介護人材の育成 | １９ |
| **３．暮らしを支える活動・・・・・・・・・・・・・・・** | **２１～３８** |
| （１）権利擁護 | ２１ |
| （２）介護保険事業 | ２２ |
| （３）障がい者福祉サービス | ３２ |
| （４）子育て支援 | ３５ |
| （５）放課後児童クラブ | ３６ |
| （６）生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業 | ３７ |
| （７）介護予防事業 | ３７ |
| （８）その他の生活支援 | ３８ |
| **４．災害に強いまちづくり活動・・・・・・・・・・・・** | **４０～４１** |
| （１）災害支援体制の構築 | ４０ |
| （２）小地域における災害対策支援 | ４０ |
| （３）災害ボランティアセンターの設置運営 | ４１ |
| **５．推進体制の充実・強化・・・・・・・・・・・・・・** | **４２～４４** |
| （１）評議員会・理事会の運営 | ４２ |
| （２）情報公開と監査機能の充実 | ４２ |
| （３）会員・会費制度の検討 | ４３ |
| （４）財政の健全化 | ４３ |
| （５）各種積立金の適正化 | ４３ |
| （６）人材育成・活用システムの確立 | ４４ |
| **６．事業評価・進捗管理・・・・・・・・・・・・・・・** | **４５** |
| **７．その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・** | **４５～４７** |

平成２６年度　事業報告総括

「誰もが住み慣れたところでいつまでも安心して暮らせるまちづくり」を目指して、平成２６年度は、生活困窮者自立支援法の施行や介護保険制度の改正、また、介護予防の推進等地域の支え合い活動を含めた地域福祉の再構築を見据えた準備の年として事業を展開してきました。さらに、「まいばら福祉のまちづくり計画」に基づき、市民や事業者、各種団体、行政や社協等がそれぞれの役割を担い、複雑多様化する地域の課題に対応すべく、様々な機関と連携して、地域総ぐるみによる福祉のまちづくりを進めていくための、協議、検討を重ねてきました。

特に、地域をつなぎ地域の福祉力向上に向けて、地域お茶の間創造事業モデル団体への活動支援や生活支援体制づくり研修会、地域支え合いセンターの立ち上げに向けてのあり方検討会議、傾聴ボランティア講座などボランティアの養成に努めました。また、社会福祉大会「認知症フォーラム」では多くの市民の参加者を得る中で、広く認知症の理解を深め地域総ぐるみで支え合うことの大切さを知ってもらう機会となりました。

また、暮らしを支える活動として、法人後見や権利擁護事業の充実、行政等関係機関との連携強化を図り、権利擁護センターや障がい者相談支援センターの開設のための準備を進めました。各介護保険事業所においては、地域に密着した事業を展開するため運営推進会議等を開催するとともに、同委員との協働による地域交流事業を実施し、さらに、介護職員が行う地域支援として出前講座による介護予防の啓発等をとおして、地域とのつながりづくりに努めました。一方、制度外サービスの取り組みとしてふれあいよりそいサービスやちょこっと訪問、支援を必要とする人や地域課題を把握するための気づきメモを活用したニーズ把握とサービス向上に努めました。

推進体制の充実・強化に向けては、市内の福祉サービス事業所を訪問し、本会事業の説明や本会で行う研修会への参加呼びかけ等を行うことで、ご理解をいただき、会費のご協力を得ることができました。

また、今年度２年目となる職員の自主研究報告会では１８グループの研究発表があり、その中から２グループが県の社会福祉学会で発表するなど、更なる専門性の向上とチームワークを深める機会となりました。

さらに、社協組織力の充実、強化を図るため、組織体制・事業実施体制の再編検討や職員の雇用条件等処遇の見直しを行いました。

**１．地域をつなぐ活動**

**（１）ニーズ・社会資源の把握と分析**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談事業や福祉サービス等を実施する中で、地域の課題や暮しの困りごと、エリアごとの社会資源の把握を行うとともに、必要に応じ調査を行い、課題を統計的に捉えます。また、把握した地域課題や暮らしの困りごとを分析・整理し、関係機関や活動者と共有できる仕組みをつくります。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | ニーズ把握活動 | ○地域アセスメントの更新と台帳整備○地域福祉懇談会における地域課題の把握と整理○地域支え合いネットワーク事業（モデル事業）での生活支援ニーズ調査の実施（5地域）○職種間会議の開催（各種事業、サービスから把握されたニーズの共有と対応の検討）○気づきメモの活用と新たなサービスの検討 |
| 事業実績 | ○コミュニティソーシャルワーカーの活動を通じた地域カルテの整備を進めた。○地域福祉懇談会を通じ、地域や個別の課題の把握と整理を行った。（開催：延べ７２回、参加者：延べ８８３人）　※具体的な支援につながったケース（２件）○地域支え合いネットワーク事業　生活支援ニーズ調査・・・1自治会3７人買い物や通院、交流の機会など様々なニーズを把握した。○個別支援ネットワーク会議の開催・・・22件○気づきメモ　１５４件 |

**（２）ネットワークの構築**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 行政・関係機関・福祉サービス事業者・福祉NPO・市民・ボランティアなど、公的なサービスの他、小地域福祉活動やボランティア活動のネットワークを構築し、それぞれの役割を整理するとともに、地域の困りごとに対しての取り組みを協議し、事業を企画します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 福祉事業者協議会の設置・運営 | ○地域福祉推進を目的とした福祉事業者協議会の立ち上げと協議会の開催 |
| 事業実績 | 「福祉サービス事業者　制度説明・情報意見交換会」を開催し、介護予防、日常生活支援総合事業、生活困窮者自立支援制度等について意見交換を行った。【開 催 日】３月３０日（月）　【参加者数】１５事業所（２２人） |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 単位民協事務局運営 | ○民協事務局の運営と委員活動の支援　・定例会の開催　・委員研修の企画と実施　・委員活動に対する支援（個別ケースへの対応、情報提供等） |
| 事業実績 | 各単位民協の事務局運営ならびに委員活動の支援を行った。【山東民協】定例会議：１２回開催　　　運営委員会：４回開催　　 広報委員会：４回開催広報発行：２回　　　　　　活動支援：30回【伊吹民協】定例会議：１２回開催　　　運営委員会：８回開催　　　学校訪問懇談会：5回開催　　　　　　サロン訪問：６回開催　　　広報発行：１回【米原民協】定例会議：１２回開催　　　企画調整部会：３回開催　　広報委員会：５回開催　　　　　　広報発行：２回【近江民協】定例会議：１２回開催　　　運営委員会：１２回開催　　広報発行：２回 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 職員の地域担当制 | ○地域福祉活動の支援や活動における相談窓口として、自治会ごとに担当職員を配置する。 |
| 事業実績 | 各課職員が、地域福祉懇談会への参加や、出前講座の提供など、コミュニティソーシャルワーカーと共に活動した。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 認知症初期集中支援チームへの参画 | 医療系、介護系の職員がチームとなり、「気づき」からの早期発見・早期治療・早期からのケア・アプローチを行う認知症初期集中支援チームへ参画する。 |
| 事業実績 | 市包括支援センターとの一体的な事業展開となり、本会としては、第３者的な関わりとなった。 |

**（３）相談支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 情報提供等、すべての事業所において相談支援を行い、支援を必要とする人からの暮らしの困りごとに対応します。また、制度の間で暮らしづらさを抱える人への寄り添い型の相談支援活動をすすめます。また、地域やボランティア、サービス事業者などの福祉活動者への相談支援を行い、関係者の連携を進めます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 相談支援窓口 | ○コミュニティソーシャルワーカーの配置（※市補助）○専門窓口（顧問弁護士）の活用○ネットワーク支援台帳の整備○「地域支え合いネットワーク活動推進事業」との連携○相談対応の拡充（寄り添い型支援活動・毎月第２日曜日の相談窓口開設） |
| 事業実績 | 個人の困りごとについては、民生委員や各種機関と連携しながら、困りごとの解決に向けて対応した。また、活動者からの相談については、情報提供や提案(重視すべき点や活動の進め方など)することで、市民が主体となった活動を推進した。（単位：件） |
| 相談支援件数内訳 | 地域福祉活動支援に関する相談 | 暮らしの困りごと等に関する個別相談 | 合計 |
| 件　数 | １，３４２ | ４１０ | １，７５２ |
| 前年度 | ４６５ | ５８５ | １，０５０ |

**（４）広報・情報発信**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 小地域福祉活動や市内の福祉事業者の取り組みなど、市内の福祉活動全般の情報を様々なメディアを通じて市民に届け、市民の福祉学習や福祉活動への参加意識を高めます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 広報・情報発信活動 | ○社協広報誌「てとて」の発行○社協活動パンフレットの作成○ホームページの充実、多様なメディアの積極的な活用、ソーシャルメディアへの対応○社会福祉大会での情報発信（ブースの設定）、各種講座での積極的な広報○広告（スポンサー）募集の拡充 |
| 事業実績 | ○広報『てとて』の発行：４回○ソーシャルメディア（フェイスブック・ブログ）のH27年４月新規開設に向けた試験開設　 |

**（５）福祉活動団体支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 地域福祉推進における各団体の役割を考えながら、それぞれの団体が主体的に活動を進めることができるよう、情報交換や連携連絡の場を設けるとともに、様々な活動の場面で協働して地域福祉活動に取り組めるよう支援します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 連絡会議 | ○連絡会議の開催（情報交換、協働した取り組みの検討、等）○活動推進に係る研修会の開催 |
| 事業実績 | ○団体ごとに会議を開催し、団体の運営や取り組みについて調整を図った。（赤十字奉仕団、健康推進員、更生保護女性会、老人クラブ連合会等） |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 団体活動計画策定支援 | ○団体活動についての相談支援○「まいばら福祉のまちづくり計画」に基づく団体活動計画の策定支援 |
| 事業実績 | ○各団体の会議を開催し、「福祉のまちづくり計画」の推進について働きかけた。○活動に関する相談等を行った（延べ５３回） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 活動助成 | ○補助金の交付による活動支援 |
| 事業実績 | 〇団体活動に対し、事業費の補助を行った（38団体・2,106,000円） |

**（６）当事者団体活動支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 地域や行政等とのつなぎや地域活動への参画を支援し、当事者に対する理解を深めるとともに、新たな支え合い活動や福祉サービスの開発につなげます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 連絡会議 | ○連絡会議の開催（情報交換、ニーズ把握、等）○地域福祉活動への参画に係る福祉学習会の開催 |
| 事業実績 | ○市と協働で、当事者団体（障がい者団体）との意見交換会を開催した。（11/17参加：5団体） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 団体活動計画策定支援 | ○団体活動についての相談支援○「まいばら福祉のまちづくり計画」に基づく団体活動計画の策定支援 |
| 事業実績 | ○活動に関する相談、運営に関する助言・情報提供を行った（延べ11回）○各団体の会議を開催し、「福祉のまちづくり計画」の推進について働きかけた。（延べ32回）（米原市手をつなぐ育成会、NPO法人でこぼこフレンズ、視覚障害者福祉協会等） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 活動助成 | ○補助金の交付による活動支援 |
| 事業実績 | 〇団体活動に対し、事業費の補助を行った（7団体・470,000円） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | サマースクール支援 | ○サマースクールの企画・運営への参画 |
| 事業実績 | ○障がい児の夏休み中の生活をサポートすることを目的に開催されるサマースクールの全体企画・運営に参画するとともに、2日間のプログラムを担当し実施した（8/7、8/10） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 家族介護者のつどい | ○つどいの開催　・情報交換　・介護に関する相談、情報提供・介護に関する学習会の開催（認知症への対応）・リフレッシュ事業の実施○自主的な活動への働きかけ○福祉事業所との協働開催 |
| 事業実績 | ○家族介護者のつどいを開催した（３回）【開催日】６/２０、８/２０、１０/３０【参加者数】延べ１８人【内容】認知症に関する勉強会、高齢者向けの食事づくり、情報交換など |

**（７）福祉サービス事業者支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 市内の福祉・介護サービス事業者に対し、人材育成や研修、情報提供等の支援を行い、地域活動と事業者をつなげるコーディネートを行います。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 福祉事業者協議会の運営 | ○実践報告会、合同研修会の開催○社協広報誌を活用した情報提供・PR活動○地域福祉懇談会への事業者の参加○福祉介護人材の育成・養成についての協働 |
| 事業実績 | ○地域福祉懇談会への事業者への参加呼びかけ。（３件）○介護人材の育成（職員研修会の他事業所への公開）＊人数は本会以外の事業所からの参加人数・ヘルパー介護技術研修（6/18）：10人・デイ職員研修：認知症自立支援に向けた取り組み（9/4）：4人　・介護職員初任者研修フォローアップ研修：介護職員における基本的な接遇とコミュニケーションの取り方（７/８）：19人・普通救命講習（10/7･10･17）：18人○介護職員初任者研修での講師協力：８事業所（市含む）17人 |

**（８）地域福祉活動拠点の活用**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 社協をはじめとした福祉活動団体等との協働型の拠点としての機能整備や、相談窓口としての機能強化について検討する場を設けます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 施設管理業務（市指定管理） | ○周辺地域との連携・協働の中での施設管理業務を行う。また、小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談支援を行うとともに、デイサービス事業、介護予防事業を実施する。（柏原福祉交流センター、北部デイサービスセンター、伊吹健康プラザ愛らんど、米原地域福祉センターゆめホール、西部デイサービスセンターきらめき、ボランティアセンター三島荘、近江いきいき健康館） |
| 事業実績 | ○地域住民および各関係機関が参画する施設の運営推進会議を開催した。（ボランティアセンター・西部デイサービスセンター・ゆめホール・愛らんど）○指定管理者の指定・ボランティアセンター三島荘（特定2年）　・西部デイサービスセンター（特定1年）○利用料金制度変更への対応（施設利用者向け説明会）（ゆめホール2/27、愛らんど3/18、ボランティアセンター３/20）○近江いきいき健康館の無償譲渡願を市へ提出した。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 運営協議会の開催 | ○利用者や周辺地域、ボランティア等の参画する運営協議会の運営（愛らんど・ゆめホール・きらめき・かせの・きたで～・うかの・のとせ・いをぎの家・ほおずき作業所・ボランティアセンター）　・事業やサービスの点検　・拠点の活用方法の検討　・地域と協働する事業の企画と実施 |
| 事業実績 | ○運営協議会を開催し、地域福祉向上に向けた施設の活用について協議した。【愛らんど】６/１７【ゆめホール】７/２３、１１/１９、３/１３【西部デイ】６/１３、９/５【行こ家のとせ】８/２０【いをぎの家】４/１８、６/２０、８/２２、１０/１７、１２／１９、２／２０【ボランティアセンター】５/２８、７/２９、９/２９、１１/１７、１/３０、３/２７ |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | センター事業（地域交流事業） | ○地域との協働事業の実施・ゆめホール：ゆめまつり「介護・福祉について学ぼう！」（9月）「ゆめホールふれあいまつり」（１２月）　・三島荘：みしまＣＨＡＹＡ「手作りサロン」（年2回：７月・12月）・愛らんど：いきいき健康クッキング（年4回：5月・8月・11月・2月）・きらめき：きらめきまつり（7月）・かせの：夏祭り、クリスマス会、ボランティア交流会、おしゃべり広場・はびろ：はびろ喫茶、やいと祭りへの協力、餅つき大会、子育て家族との交流事業・うかの：七夕まつり、宇賀野サロン芋煮会、ほおずき喫茶、ボランティア交流会、子育てサロン・のとせ：秋の収穫祭、東保育園との交流会、放課後児童クラブとの交流会、息長小学校との交流、能登瀬サロンとの交流会・きたで～：地蔵前掛けの作製と配布、雑巾の作製と配布・クリスマス会 |
| 事業実績 | 【ゆめホール】「介護・福祉について学ぼう」講演会（９／２７）、「第３回ゆめホールふれあいまつり」（１２／６）を開催。延べ１９５名が参加。【ボランティアセンター三島荘】みしまCHAYA：「手作りサロン」（７/３１）、「ハンドベル体験教室」（１２/１０）参加者：延べ４０人【愛らんど】「健康クッキング教室」（３/２０）参加者：１０人【きらめき】きらめき健康祭り（9/28）参加者：130人（ウォークラリー：63人）【かせの】夏祭り（７/２１）参加者：50人【はびろ】はびろ喫茶（4回）やいと祭り（街明かり事業）への作品提供、子育て支援事業（5回）【うかの】七夕まつり（７/5）参加者：約200人、宇賀野サロン芋煮会（10/21）参加36人、子育てサロン（3回）参加者：延べ22組35人【のとせ】秋の収穫祭（10/18）参加者：約100人、息長小から来所：能登瀬サロンとの交流　【きたで～】お地蔵さんの前かけを作成し（計80枚）北部8集落へ配布（8/5～8/8）　　　　　　お地蔵さんの前掛け作り講座（７/23・25・26）、きたで～祭り（８/９＊台風接近により中止）、クリスマス会（12/20）参加8人 |

**（９）善意銀行**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 　善意銀行を、市内で地域福祉推進に取り組む自治会や関係団体の活動資金として、有効活用します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 善意銀行の運営 | ○善意銀行の活用（寄付者の意向に基づく効果的な活用）　・生活困窮者支援物資提供事業　・小地域福祉活動助成事業　・備品・福祉機器貸出事業○善意銀行の啓発および情報提供 |
| 事業実績 | 【預託】金銭預託：３６件　1,443,454円物品預託：１０８件【払出】合計940,200円・生活困窮者支援物資提供事業：12,224円・小地域福祉活動助成事業　400,000円・備品・福祉機器貸出事業（綿菓子機・ポップコーン機の購入）：247,320円・寄付指定先への払い出し：280,656円 |

**（10）赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 　共同募金委員会および審査委員会の運営に協力し、募金活動や募金の有効活用をすすめます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 共同募金委員会審査委員会の運営協力 | ○募金活動の強化　・受配団体等と協働した募金活動の実施　・新たな募金手法の検討○配分方法に関する検討　・透明性の確保と啓発の強化　・様々な地域福祉活動への幅広い配分　・先駆的な取り組みへの柔軟な配分○赤い羽根全国ミーティングへの参画 |
| 事業実績 | ○赤い羽根共同募金寄付付自動販売機の設置（三島荘：池下お茶の間創造事業「ほっこり」さんとの共同設置）○赤い羽根全国ミーティングin高島（6/26・27）への実行委員として参画○H2６年度募金計画の作成と共同募金委員会理事会での承認 |

**２．地域の福祉力を高める活動**

**（１）小地域福祉活動の推進**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 複雑多様化する支援ニーズに対して、地域活動圏で支援の担い手の組織化をはじめ、地域住民による見守り支え合いの活動や、支援を必要とする人への生活支援の取り組みを促進します。○自治会における推進組織や小地域福祉活動におけるリーダーの役割を整理し提案します。○地域社会の動向や課題を捉え、市民が主体的に見守り・支え合い活動を進める上での機運を高め、組織化を支援します。○支援を必要とする人の支援ニーズを、地域やサービス事業者などと協働で支え合う包括ケアシステムへつなぎます。○地域から孤立をなくすための仕組みづくりを推進します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 地域福祉懇談会 | ○福祉意識の醸成（大人から子どもまで、一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らすことができる地域づくりに向けて学ぶとともに、支え合い活動の必要性について理解し共有する。）○地域課題の発見から解決に向けた方策の検討・推進組織の立ち上げ（組織化）、福祉委員等の設置促進・推進組織と福祉委員等の役割の整理と活動支援・地域における支え合い活動（サロン、交流事業、見守り訪問、子育ち支援、災害時要援護者支援体制づくり等）の具体的な推進方法の検討 |
| 事業実績 | ○各自治会において、地域福祉懇談会を通じ、地域の状況に応じた情報提供や取組提案を行い、地域課題の解決に向けた具体的な取り組みにつなげた。　＊43地域（延べ72回） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 区長・民生委員等合同説明会 | ○小地域福祉活動の目的や意義、進め方、小地域福祉活動におけるリーダーの役割等についての検討　・各自治会の取り組みについての意見交換・活用できる福祉情報の提供 |
| 事業実績 | ○区長・民生委員等合同説明会を開催し、小地域福祉活動の目的や意義を伝え、意見交換を行った。＊山東地域：4/22　参加者：８９人＊伊吹地域：4/23　参加者：５７人＊米原地域：4/21　参加者：６０人＊近江地域：4/25　参加者：８０人　　　　合計２８６人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 地域福祉推進組織（広域）の立ち上げ準備 | ○自治会単位では解決・対応が困難な課題に対する、広域的な連携についての検討　・地域福祉懇談会での意向、ニーズ集約　・エリア、機能のイメージ、組織化による活動効果等の整理　・既存の取り組み（広域的）との連携 |
| 事業実績 | ○地域福祉懇談会において、自治会単位では対応困難な課題やニーズを集約し、広域的な連携についての検討につなげた。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 小地域福祉活動の支援 | ○補助金の交付（福祉のまちづくり事業補助、サロン活動補助）○活動支援　・活動に関する相談と情報提供　・具体的な実践方法の提案　・活動に参加するきっかけづくり　・組織化の支援　・関係機関、団体、社会資源とのネットワークづくり　・新たな活動の開発 |
| 事業実績 | ○地域で取り組まれる福祉のまちづくり活動に対し補助金を交付した。　＊補助額：2,912,000円（７６件）○活動に関する相談ならびに情報提供を行った（延べ719件）○福祉会活動（会議等）に参加し、具体的な取り組みや組織運営に関する提案を行った。（延べ６３回） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【重】地域支え合いネットワーク活動推進事業（市委託事業：安心生活基盤構築事業） | ○地域お茶の間創造事業モデル団体の指定と活動支援・福祉意識の醸成と取り組みの共有（福祉懇談会、テーマ別研修会の実施）　・地域課題の把握（生活支援ニーズ調査の実施）　・地域課題の共有と対策の検討（推進組織の組織化、生活支援の仕組みづくり等）　・活動の継続を支える仕組みの検討 |
| 事業実績 | ○地域お茶の間創造事業採択団体等、モデル事業推進団体（地域）に対する活動支援を行った。＊会議等参加：延べ38回＊視察・取材受入調整：延べ９回＊助言等相談援助：延べ120回○地域お茶の間創造事業採択団体等、モデル事業推進団体へ補助金を交付した。　＊補助額：3,648,000円（７件） |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 個別支援ネットワーク会議 | ○困りごとを抱える住民への支援を行うための、地域住民や事業所、各種機関等の役割と連携のあり方についての検討○個別ケースに応じた取り組みの調整と実施（※訪問型サロン、ごみ捨て支援、安否確認等） |
| 事業実績 | ○個別のケースごとに、包括、ＣＭ、民生委員、自治会長、学校等が参加するケース会議を開催し、ケースに応じた取り組みの検討と調整を行った（延べ２１回） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 防火訪問 | ○ひとり暮らし高齢者等に対する防火のための訪問の実施　・消防署、民生委員児童委員、福祉事業所等との調整と連携 |
| 事業実績 | ○消防署、ケアマネ事業所等と協力し、ひとり暮らし高齢者等に対する防火訪問を実施し、火災発生のリスクを軽減するとともに、民生委員も同行することで、日頃の見守りにつなげた。（11件） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【新】地域福祉フォーラム | ○市民による地域福祉活動の検証と、その必要性や取り組み方法についての理解促進　対象：市民、住民福祉活動に取り組む組織、民生委員児童委員、福祉委員等　・講演・地域お茶の間創造事業の事例発表　・事例をもとに、「居場所づくり～見守り活動～生活支援」の各段階に応じた取り組みについて、意見交換を行う。 |
| 事業実績 | ○住民主体の福祉活動について考える機会として、地域福祉フォーラムを開催した。【開催日】1月31日　【会場】ルッチプラザ【テーマ】～災害・孤立死・認知症行方不明者…今求められる見守り活動～・講演「今求められる見守り活動とは」講師：大谷大学文学部社会学科　教授　山下憲昭氏・パネルディスカッション【参加者数】134人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 健康麻雀サロン | ○既存サロンへ参加しにくい方への働き掛け○介護予防の視点を取り入れる。○ボランティア活動参加への働きかけ○自主運営に向けた支援○開催場所の拡大 |
| 事業実績 | ○認知症予防やつながりづくりを目的に「健康麻雀サロン」を市内３会場で実施した。【山東会場（三島会場）】　　毎月第１木曜日開催　　　　　計１２回（延べ２９０名参加）【米原会場（きらめき会場）】毎月第２火曜日開催（8月～）計８回（延べ１７１名参加）【近江会場（やすらぎ会場）】毎月第３木曜日開催　　　　　計１２回（延べ１９３名参加） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 男性のためのいきいき料理教室 | ○男性高齢者に対する介護予防の推進○調理・会食を通じた交流の機会の確保○自主サークル設立に向けた支援、サロンへの展開○山東、伊吹、米原地域への拡充（活動資料の作成と提案） |
| 事業実績 | 老人クラブが主体となり、健康推進員の協力により実施した。１８地区　（近江地区：１２地区、山東地域：３地区、伊吹地区：１地区、米原地区：２地区）のべ２０回開催、参加者数のべ２６７人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 一円玉を大切にする運動 | ○山東、伊吹、米原地域への拡充（提案、情報提供）○実施における支援（住民向け啓発等） |
| 事業実績 | 小地域福祉活動の財源確保として、近江地域にて募金活動を実施。実施自治会数：２１自治会　　募金実績：435,149円　※硬貨入金手数料についての協議を行った。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 社会福祉大会（市・共同募金会共催） | ○社会福祉功労表彰○認知症予防に関するフォーラムの開催　・基調講演　　　・先進事例の発表　・パネルディスカッション○ロビー展の開催（ボランティア活動者・福祉事業所の活動紹介、介護予防のための「食・運動・活動」の紹介、作品展（障がい関係））○障がいの理解促進に関する研修（市委託事業）　・講演　　・パネルディスカッション（相談機関、当事者グループ、ボランティア、就労支援事業所、家族等）○共同募金、災害義援金、善意銀行の啓発　 |
| 事業実績 | ○社会福祉大会「認知症フォーラム」を開催（3/8）　参加者数：722名認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをめざし、認知症に対する理解を深めるとともに、それぞれの立場で何ができるかを考える機会とした。　・記念式典　社会福祉功労表彰　　・講演会「認知症を食い止めろ～鍵を握る生活習慣病～」国立循環器病センター 脳神経内科医長　猪原匡史　先生　・取組報告「認知症の人が安心して暮らせるまちづくり」　　 　認知症介護研究・研修東京センター　研究部部長　永田久美子　氏　・パネルディスカッション「認知症の人を支えるために何ができるか」　・ロビー展　まいばら版認知症立体支援ロード　・ブース出展　企業・団体（11）、福祉事業所（6）、湖北薬剤師会（1）、ボランティアグループ（1）、湖北介護・福祉人材センター（1）　・赤い羽根共同募金啓発活動 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 息吹の奏 | ○愛らんど（社協）・ケアセンターいぶき・ジョイ伊吹の3者による共同開催○地域住民の交流イベントの企画○学生ボランティアの参加促進 |
| 事業実績 | ○関係団体・ボランティアグループ・中学生ボランティアと協力し、異世代や住民同士のつながりづくりとして開催した。開催日：７月２６日　　参加者：約2,800人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 備品・福祉機器貸出事業車両貸出事業 | ○備品の貸出　・地域福祉活動への活用促進○福祉機器（車椅子）の貸出・利用者の心身機能の維持向上と生活支援、介護者の介護負担の軽減○車両の貸出　・地域における支え合い活動として取り組まれる送迎サービスへの貸出 |
| 事業実績 | ○備品の貸出実績：３７９件〇備品購入：ポップコーン機１台○福祉機器の貸出実績：41件 |

**（２）ボランティア活動の推進（ボランティアセンター）**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 支援を必要とする人や地域、サービス事業所などからの声をもとに、ボランティアによる支援ニーズを把握し、必要な事業の企画とボランティアの養成を行うなど、ボランティア活動の推進と活動に関する調整を行います。制度・サービス等では支援できない生活課題に対し、支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるようボランティアによる生活支援を進めるとともに、その活動に関わるボランティア自身の生きがいにもつなげられるよう取り組みます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | ボランティア活動者に関する相談とマッチング業務 | ボランティア活動者の育成・支援活動調整・情報提供 |
| 事業実績 | ○相談件数　　１９２件　（団体１３０、個人６２）実相談者数（団体９５、個人３６）○活動調整件数　８９７件（団体８４０、個人５７）○ボランティア登録　団体数：７５団体（高齢分野９、子ども分野６、環境分野４、障がい分野３、製作７、音訳５、芸能３９、その他２）個人登録者数：５９人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | ボランティアセンター運営協議会の運営 | ○ボランティアセンター事業の企画と検証○支援ニーズの対応についての検討○ボランティア活動の情報の共有○新たな活動の創出とネットワークづくり |
| 事業実績 | 開催日：５/２８、７/２９、９/２９、11/17、１/30、３/27（6回）　・ボランティアセンター事業の企画運営への参画・「地域支え合いセンター」の機能や協議体についての協議　等委員数：13人　　委員会への参加延べ６０人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | （仮称）地域支え合いセンターのあり方検討会議 | ○（仮称）地域支え合いセンターの機能や担い手についての検討○生活支援（有償サービス）の仕組みづくり○先進事例の研修 |
| 事業実績 | 〇地域支え合いセンターのあり方検討会議を開催した（2回）〇職員向けの研修を実施した。（たすけあい高島研修、街角ケアしがネット研修、生活支援サービスづくり研修、生活支援コーディネーター中央研修、新地域支援事業における助け合い活動推進に係る研修会） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【重】生活支援ボランティアの養成 | ○養成講座の開催（暮らしの中の困りごとに対応するボランティアを養成する。）　・地域における支え合い活動の意義　・高齢（認知症）や障がいの理解、コミュニケーションのとり方、個人情報の取り扱い・ボランティアの活動基盤の整備（組織化支援、地域お茶の間創造事業の活動者育成、等） |
| 事業実績 | ○地域お茶の間創造事業情報交換会において生活支援体制づくり研修会を開催した。・地域における支え合い活動の意義や目的、効果等・市内活動者からの報告開催日：３月１９日　　参加者：２０人　 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 傾聴ボランティアの養成・活動支援 | ○養成講座の開催　・傾聴に必要な技法の習得・地域の状況や資源（相談窓口やサービス等）について・個人情報の取り扱いについて○傾聴ボランティアの活動支援　・定例会の開催（情報交換、活動課題の共有と対応、等）　・活動調整（施設、個人）　・相談機関、関係機関との連携　・スキルアップ研修会の開催 |
| 事業実績 | ○養成講座の開催 開催日：　9/5、9/12、9/19、9/26（4回）参加者：延べ１０４名　　傾聴ボランティア新規登録者：１１名○フォローアップ研修　　　開催日：3/3０　　　参加者：１１名○傾聴ボランティア定例会の開催（12回）○地域での活動：市内デイサービス（７か所、延べ74人）　　個人宅（９件、延べ145人） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 企業向け啓発事業 | ○活動状況の把握（アンケート調査の実施）○社会貢献活動の資料の作成と配布○具体的な活動の場の調整○企業向けプログラムの開発（ボランティアセンター運営協議会での検討） |
| 事業実績 | 〇商工会および滋賀県立大学の協力を得て、「社会貢献活動に関する意識調査」を実施した。（※結果集計はH27年度）○具体的な活動調整（１件） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 音訳ボランティアの養成（市委託事業） | ○養成講座の開催（初級者編、経験者編）・音訳ボランティアの育成とスキルアップ○養成者の活動支援 |
| 事業実績 | ○音訳ボランティア養成講座：初級者編　　開催７回　受講者：１１人○音訳ボランティア養成講座：経験者編　　開催５回　受講者：１２人○音訳ボランティア養成講座：スキルアップ編　　開催５回　受講者：２２人○音訳ボランティア・デジタル編集勉強会　　開催８回　受講者：２２人○音訳ボランティア相談会　　　開催：１／１５　参加者数：１４人○音訳ボランティア意見交換会　　開催：３／９　参加者数：１１人　 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 音の広報発行事業（市委託事業） | ○市広報や議会だより、社協広報等の録音と発行（視覚障がい者向け） |
| 事業実績 | ○年間計画に基づき、当番制により市広報や議会だより、社協広報等の録音と発行を行った。発行回数：３２回、利用者数：６人（市広報（２４回）、議会だより（４回）、社協広報（４回）） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【新】市民ボランティアコーディネーター育成 | ○養成講座の開催（センターや地域で活動するボランティアの育成を図り、市民の福祉向上を図る。）　・福祉施設、ＮＰＯ、学校等のボランティア担当者に向けた基礎講座 |
| 事業実績 | ○ボランティアコーディネーター養成講座を開催開催日：6月7日　　　参加者：31人○ボランティアコーディネーター研究集会を開催開催日：2月１１日　　参加者：16人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 情報提供 | ○ボランティア情報の整理と充実、提供手段の開発、支援情報・ボランティア情報の発信・ボランティアセンターパンフレット（ボランティアガイドブックを含む）の作成・支援メニューガイドの作成・ホームページの充実（ＳＮＳの活用等）・サテライト（掲示板等）の活用 |
| 事業実績 | ○社協広報「てとて」による情報発信　発行回数：４回○ホームページの更新○事業や対象者ごとに、メールやダイレクトメールを活用し情報を提供した。 |

**（３）福祉学習・啓発**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 福祉学習や研修会、実際の活動を通じて、一人ひとりの人権の尊重や支え合い活動の必要性の啓発を通して、小地域福祉活動やボランティア活動など「支え合い活動」の活性化を図ります。また、地域の支援を受け福祉サービス等を適切に利用するなど、受援力が高められるよう地域住民に向けた働きかけを行います。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 福祉教育連絡会議 | ○福祉教育プログラムの見直し○連絡会議の開催（学校をはじめ関係機関、福祉活動団体、福祉事業者等の参画を得る）・情報交換と取り組みの検討・福祉教育プログラムの提案 |
| 事業実績 | ○体験学習の受け入れ事業所やボランティアの会議への参加により、各校の取組の共有化や、情報提供などがすすみ、効果的な学習プログラムの実施につなげることができた。開催月：８月（各地域1回、計4回）　　　参加者：30人○ボランティアや福祉事業所の参加を得て、福祉教育連絡会議を開催した。各地域（山東・伊吹・米原・近江）にて開催（計4回）　　参加者：30人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 福祉学習会 | ○各学校での福祉学習会の開催　・保護者や住民の参加を得る。　・福祉教育プログラムにそった学習の提案（人権学習、認知症や障がいに対する理解、ボランティア活動に関する取り組み、等）○福祉学習サポーター養成講座の開催 |
| 事業実績 | ○市内小中学校１１校で、延べ２９回の学習会を開催した。【米原小学校４年生】（１回）車いす・アイマスク体験【坂田小学校４年生】（1回）障がいについての理解【坂田小学校４年生】（１回）親子フォーラムでの車いす・アイマスク体験あ【息長小学校４年生】（３回）親子フォーラムでの車いす・アイマスク体験、ボランティア体験【伊吹小学校５年生】（３回）車いす・アイマスク・インスタントシニア体験、認知症に関する理解【伊吹小学校５年生】（４回）愛らんどデイとの交流、ボランティア体験、きたで～との交流【春照小学校６年生】（4回）ボランティア体験【伊吹山中１年生】（１回）インスタントシニア体験【双葉中学校１年生】（４回）福祉について講和、認知症について、車いす・アイマスク体験【河南中学校３年生】（２回）インスタントシニア体験、枝折お茶の間との交流【大東中学校１年生】（３回）認知症について、インスタントシニア体験【河南中学校3年生】（２回）インスタントシニア体験〇福祉教育サポーター養成講座を開催　開催日：8月21日　　参加者：24名内　容：福祉教育の意義について・車イスレクダンス・インスタントシニア体験 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 福祉体験学習の受け入れ | ○本会各福祉拠点を活用した福祉体験やボランティア体験の受け入れ　・各事業からのメニューの集約と、学校や地域への提案　・各事業の広報○市内福祉事業者による福祉体験の受け入れ・各事業所からの活動メニューの集約と学校、地域への提案 |
| 事業実績 | ・春照小学校ボランティア体験（デイサービスセンター愛らんど）・河南中学校福祉の職場体験（デイサービスセンターゆめホール）・米原中学校福祉の職場体験（デイサービスセンターゆめホール、西部デイサービスセンターきらめき、デイサービスセンター行こ家のとせ、デイサービスセンター寄ろ家うかの、いをぎの家、東部デイサービスセンターはびろ、ほおずき作業所）・伊吹山中学校（生徒会による自主的参加）との交流会（デイサービスセンター愛らんど） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 出前講座 | ○地域への働きかけと講座の開催（日々の暮らしや介護に役立つ情報を届け、講座を通じて福祉のまちづくりについて考える。） |
| 事業実績 | 開催回数：７６回参加人数：2,069人　　・いつやるの?今でしょ！介護予防（２６件） 　　・暮らし方ノート（８件）・サロンで活用できるレクレーション（１１件）　　・ストップ！悪質商法（３件）・認知症サポーターになりましょう（１7件）　　　・知って得する介護のコツ（４件）・みんなで支えよう～認知症を理解する～（４件）　・災害にあわないまちづくり（３件） |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 平和祈念式典 | ○米原市・遺族会との合同事業・米原市が非核・平和都市宣言のまちであることを啓発する。 |
| 事業実績 | 遺族会および米原市との共催にて開催した。会　場：ルッチプラザ開催日：８月9日　　　　参加者：約300人 |

**（４）福祉介護人材の育成**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 地域の支え合いや生活支援サービスの担い手の育成をめざすとともに、質の高い介護人材が、市内の事業所に安定的に確保されるよう、社会福祉法人や介護事業所等と協働して、福祉・介護人材の育成に取り組みます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | キャラバンメイトの養成（市委託事業） | ○養成講座の開催○定例会の開催　　　　　　　　　・活動状況についての意見交換　　・サポーター養成講座の企画　　・啓発活動○スキルアップ研修会の開催 |
| 事業実績 | ○キャラバンメイト養成講座を開催　　　　開催日：９月１８日　参加者：延べ６４人　※26年度末全国登録人数144人○定例会を開催した（毎月1回：１２回）　　参加者：延べ１４１人〇他市（長浜市）との交流会を開催した。開催日：９月３日　参加者：15人○視察研修（富田林市）を実施した。　実施日：３月１１日　参加者：１０人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 認知症サポーターの養成（市委託事業） | ○養成講座の開催・学校向け講座の企画、実施（人形劇、紙芝居）・企業向け講座の企画、実施（対応方法のロールプレイ）・徘徊見守り模擬訓練の企画、提案 |
| 事業実績 | ○開催数：28回　　養成人数：９４９人　　累計：4,606人・伊吹小学校５年生（13名）　　　・双葉中学校１年生（120名）・息長小学校5年生（39名）　　・大東中学校1年生（122名）・上丹生自治会（42名）　 　　　・西番場ハートフルフォーラム（28名）・大野木サロン（27名） ・宇賀野ミニサロン（27名） ・南三吉サロン（24名）・北方サロン（18名）　 ・朝日サロン（28名）　　 ・柏原サロン（38名）・村居田サロン（23名） ・烏脇サロン（18名）　　　 ・須川サロン（24名）　・下板並サロン（14名） ・米原サロン（23名）　　 　・野一色サロン（33名）・西山サロン（21名）　 ・磯老人クラブ（58名）　 ・志賀谷さぎそうサロン（17名）・夫馬サロン（42名） ・宇賀野赤十字奉仕団（20名）・大野木まちづくり会社（7名）・米原民生委員児童委員会（23名） ・山東民生委員児童委員会（45名）・長浜信用金庫（8名）　　　　　　　・レーク伊吹農協山東支店（47名） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 福祉現場での実習受け入れ | ○福祉専門職養成のための実習受け入れ・実習の調整（市内各福祉現場） |
| 事業実績 | 受入れ人数　　計24名・社会福祉士実習（3名）・介護職員初任者研修（彦根総合高校４名）・教職免許取得のための研修（２名）受け入れ事業所：デイサービスセンターはびろ、デイサービスセンターゆめホール・京都教育大学（３名）受け入れ事業所：西部デイサービスセンターきらめき、デイサービスセンターゆめホール、デイサービスセンター寄ろ家うかの・龍谷大学（７名）受入事業所：あったかほーむかせの、東部デイサービスセンターはびろ、デイサービスセンターゆめホール、いをぎの家、寄ろ家うかの・びわこ成蹊スポーツ大学（1名）受入事業所：西部デイサービスセンターきらめき・長浜養護学校（1名）受入事業所：ほおずき作業所 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【重】介護職員初任者研修 | ○家族が抱え込まない介護への理解を深め、地域の福祉力を高めるために介護事業所等と協働して研修会を開催する。 |
| 事業実績 | 米原市内の介護サービス事業所（７事業所）と米原市の協力を得て、８月５日より１２月２１日までの24日間の日程で開催。受講者：２６人　　修了者：25名市内事業所による就業プレゼン会の実施　参加事業所：１１事業所 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 介護職員初任者研修修了者フォローアップ研修 | ○平成２５年度介護職員初任者研修修了者に対して、フォローアップ研修を実施する。 |
| 事業実績 | 昨年度の介護職員初任者研修受講者及び市内の事業所に勤務する３年未満の職員を対象に開催。内　容：介護職員における基本的な接遇マナーとコミュニケーションの取り方　　　　講　師：アニモ代表　田中淳博　氏開催日：７月８日　　参加者：４２人（内、平成25年度介護職員初任者研修修了者7人） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 発達障がい支援者育成事業（市委託事業） | ○発達障がいに関する基本的な知識を学び、地域、職域、学校等において、発達障がいのある人やその家族に寄り添い支援する人材の育成をめざし講座を開催する。 |
| 事業実績 | 発達障がいについての正しい理解と関わり方講座を開催。内　容：講義「発達障がいを知ろう」　講師/福井県立大学看護福祉学部　吉弘淳一　氏　　　　パネルディスカッション（家族・当事者団体・支援機関）開催日：平成27年2月7日　　参加者：82名 |

**３．暮らしを支える活動**

**（１）権利擁護**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 支援が必要となった時に、本人の意思に基づいて支援が受けられるよう、自らが今後の暮らし方を描き、伝えられる仕組みをつくり、出前型講座等で普及・啓発を行います。福祉サービスの利用援助や書類等の預かり、金銭管理などの生活支援を行うことで、判断能力が低下したり十分でない方が、本人の意思が尊重される安心・安定した生活を送れるよう支援するとともに、地域の中からも支援者を育成し、共に支える仕組みをつくります。また、権利擁護センター（仮称）の設立に向けて行政と具体的協議の場を持ちます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 自己決定の支援 | ○任意後見制度の普及・啓発○意思表示のための「暮らし方ノート」の普及・啓発 |
| 事業実績 | ○暮らし方ノートの普及・啓発活動　　開催：延べ９回　参加者：３０４人○暮らし方ノート講座の開催　　　　　開催日：３月２２日　参加者：１０人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【重】地域福祉権利擁護事業 | ○暮らし全体のアセスメントと定期的なモニタリング・支援計画の見直しを行い、生活目標（支援目標）を共有したうえで認知症や障がいのある人への相談・生活支援を行う。・福祉サービスの利用援助　・日常の金銭管理・書類等の預かり○利用者交流事業【新】　　日頃、地域や社会との交流が少ない人を対象に交流の場を設定し、楽しく過ごしてもらうとともに、思いや悩みを共有する場をめざす。 |
| 事業実績 | 契約件数：56件（2７年3月末）　＊新規１２件　終了1２件・行政、関係機関等との連携のもと支援を行った。・モニタリングの実施・利用者交流事業　　開催日：１月１８日　参加者：２３人（単位：件） |
| 実績 | 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 合計 | 前年度 |
| 相談件数 | ９０６ | ２,４１７ | ８６３ | ９３ | ４,２７９ | 3,737 |
| 新規契約件数 | ７ | ４ | １ | ０ | １２ | ２７ |
| 終了件数 | ６ | ４ | ２ | ０ | １２ | １４ |
| ３月末契約数 | １３ | ２９ | １１ | ３ | ５６ | ５６ |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 法人後見事業 | ○地域福祉権利擁護事業からの移行や随時対応が必要な人のほか、適切な後見人が見つからない場合などを対象に法人後見を実施する。（後見の受任）　・身上監護　・財産管理 |
| 事業実績 | 裁判所、顧問弁護士、市等と連携（相談）のもと、支援を実施受任ケース：５件（新規受任３件）保佐受任ケースにて取消権を行使市の報酬助成を利用（単位：件） |
| 実　　績 | 後見 | 保佐 | 補助 | 合計 | 前年度 |
| 新規件数 | １ | ２ | ０ | ３ | １ |
| 終了件数 | ０ | ０ | ０ | ０ | １ |
| 後見等受任件数（平成２７年3月末現在） | ２ | ２ | １ | ５ | ２ |
| 相談・支援回数 | ５８ | ２１９ | １８４ | ４６１ | ２０３ |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 権利擁護研修（市委託事業） | ○成年後見制度等の普及啓発講座の開催（民生委員児童委員やケアマネジャー対象）○権利擁護センター（仮称）受託に向けた準備 |
| 事業実績 | 成年後見制度の研修会の実施　・民生委員児童委員対象　計４回（各地域の２月定例民協にて）　　参加者：１１６人　・ケアマネジャー対象　開催日：２月１７日　　参加者：３９人＊権利擁護センターについては市との協議のうえ、来年度受託にて実施となる |

**（２）介護保険事業**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 要介護者が在宅で暮らし続けられるように、本人の持っている能力を最大限生かし、本人の能力を取り戻せるケアをめざして、医療・福祉関係機関や地域の支え合い活動との連携を常に取りながら介護実践をしていきます。また、その取り組みを市内事業所と共有する場をつくり、米原市内の介護サービスの質の向上を図り、介護を必要とする人やその家族の満足度が高まるよう努めます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 通所介護事業 | 各事業所が特色を出しながら、地域に密着した事業展開を行う。○地域交流事業の実施○気づきメモの活用による、事業の見直し、地域のニーズの発見、新たなサービスの検討○24時間安心して利用できるサービスの提供（レスパイトケアの推進：地域なじみ安心事業、時間延長） |
| 事業計画 | 通所介護事業（通常規模型） | ○職場体験や、人材養成のための実習受け入れ○災害時における拠点としての役割実施、地域連携○出前講座○各事業所における住民相談窓口の強化○年末の稼働（12月29日、30日）○医療依存度の高い利用者を受け入れるための専門的介護や基本的な医療ケアを充実させる。○広い空間を利用しての個別機能訓練、日常生活動作訓練を充実させる。○重度利用者が利用できる設備（特浴機、介護ベッド等）を充実させ、状態が変化しても、利用し続けられるケアを提供する。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | デイサービスセンター愛らんど | ○専門的な介護や基礎的な医療ケアを充実させ、医療依存度や介護度の高い利用者が、在宅での生活を継続できるよう支援を行う。○利用者の状況把握、介助、対応方法について職員間で周知徹底する。外部研修への参加と内部研修、勉強会の実施。○意見箱の設置。月例ミーティングでニーズに基づく活動および、サービス内容の実施。○家族・地域・事業者を対象とした介護講座、研修会の開催。○地域交流事業の実施：夏祭り、伊吹山中学校生徒との交流（年間通して）、餅つき大会の開催○運営委員会の開催（4月設置） |
| 事業実績 | 稼働日数：３０９日　　実利用者数：７０人　　延べ利用者数：６，４４２人一日平均利用者数：２１．０４人　　　平均介護度：２．７○利用者の状況把握、介助、対応方法を月例ミーティングにて職員間で共有○医療依存度の高い方の受け入れ：５人（在宅酸素：２人、胃瘻：１人、膀胱バルーンカテーテル：１人、人工肛門：１人）○介護度の高い方の受け入れ：１３人　（要介護４：７名、要介護５：６人）○亡くなられる７日前までの利用：３人○職員研修（外部研修（視察含む）：１４回、内部研修（勉強会）：４回）○意見箱の設置　　意見数：９件○家族の見学会　９／１２～９／１８　参加者：７人・家族対象の介護（認知症）講座と相談受付○地域交流事業：４回　＊夏まつりは台風のため中止・敬老会：９／１５　伊吹山中学校との交流　参加者：３９人・クリスマス会：１２／２３・２４伊吹山中学校との交流　参加者：１９人・もちつき：１／１２　伊吹山中学校との交流　参加者：10名（ボランティア1名）・味噌作り：２／１１　伊吹山中学校との交流　参加者：11名（ボランティア2名）○運営委員会の設立と開催　開催日：６月１７日　運営委員：１０人○福祉懇談会へ参加：２回　杉澤区（７／６）、村木区（８／３０）○出前講座：５回　藤川（５／２９）、上平寺（７／９）、藤川（７／１４）、堂谷（１１／９）、長岡（１２／６）村木（９／２９、３／２０）○介護職員初任者研修へ講師派遣：３人（９／１６、１１／２）○消防避難訓練（デイサービス利用者も参加）：2回（１０／８、３／２７）○自主研究活動：内部発表会（１１/２１）、滋賀県社会福祉学会での発表（２／１１）　　　　　　　　　　　　　　（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 519 | 561 | 550 | 573 | 550 | 557 | 575 | 518 | 532 | 489 | 499 | 519 | 6,442 |
| 前年度 | 568 | 594 | 534 | 594 | 577 | 517 | 586 | 591 | 526 | 479 | 514 | 550 | 6,630 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | デイサービスセンターゆめホール | ○専門的な介護や基礎的な医療ケアを充実させ、医療依存度や介護度の高い利用者が、在宅での生活を継続できるよう支援を行う。○利用者の状況把握、介助、対応方法について職員間で周知徹底する。外部研修への参加と内部研修、勉強会の実施。○地域交流事業の実施：夏祭り、ボランティア交流会、息郷保育園・醒井保育園との交流（年間通して）、地域住民との餅つき大会の開催○運営委員会の開催 |
| 事業実績 | 稼働日数：３０９日　実利用者数：３８人　延べ利用者数：３４８９人一日平均利用者数：１１．３人　　平均介護度：２．７○毎日のミーティングで利用者の状況把握、介助、対応方法を職員間で共有○医療依存度の高い利用者の受入：９人（在宅酸素２人、留置カテーテル挿入者４人、脊損２人、ストマ１人）○介護度の高い方の受け入れ：１７人（介護度４：９名　介護度５：８名）○出前講座：梅ヶ原（８／２３）　上丹生（１２／１０、１／２５）○地域交流事業　・醒井保育所との交流（９／２４、２／１９）・ゆめホールふれあいまつり『餅つき大会』（１２／６）参加者：約１５０人○ゆめホール運営委員会 ：７/２３、１１/１９、３/１３○職員研修（外部研修：７回、内部研修：１０回）○全利用者・ご家族アンケート実施（８月）○デイルーム環境整備：９月・１０月○市福祉支援課との認知症対応についての会議：５回○介護職員初任者研修へ講師派遣：2人（１０／２１、１１／２５）○自主研究活動発表会（１１／２１）○消防避難訓練（デイサービス利用者も参加）：2回（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 330 | 359 | 323 | 337 | 289 | 317 | 314 | 263 | 252 | 239 | 226 | 240 | 3,489 |
| 前年度 | 396 | 421 | 395 | 409 | 385 | 344 | 375 | 374 | 320 | 299 | 313 | 342 | 4,373 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 西部デイサービスセンターきらめき | ○専門的な個別機能訓練や日常動作訓練を提供する。　・理学療法士、看護師による個別機能訓練の実施　・日常生活動作を意識した訓練（介助方法）の実施　・運動器機能向上プログラムや筋トレマシンでの訓練の導入・地域への介護知識、技術、機能訓練プログラムの提供　○地域交流事業の実施：きらめきまつり（９月）、もちつき大会○運営推進会の開催 |
| 事業実績 | 稼働日数：３０９日　実利用者数：６８人　延べ利用者数：6,471人一日平均利用者数　２０．９人　　平均介護度＊２．４○地域交流事業・きらめき健康祭り（９／２８）　参加者：130名（ウォークラリー：63名）・米原中保育園との交流（６／１２）・米原幼稚園との交流（１１／6）・もちつき大会（３／１４）○福祉体験の受入：米原中学校福祉体験（生徒５名：１０／３１）○出前講座：朝妻サロン（４／１８）、米原公民館（６／２０）、中多良サロン（１／１４）○福祉懇談会参加：３回　下多良く（９／２７）米原区（１０／１５）、　梅ヶ原（１１／１１）○西部デイサービスセンター運営推進会議：４回（６／１３、９／５、１０／２２、３／６）○消防避難訓練（デイサービス利用者も参加）２回（１０／２４、３／２０）○自主研修活動発表（１１／２１）○介護初任者研修講師派遣：２人（１１／１６） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 477 | 528 | 530 | 612 | 569 | 592 | 586 | 559 | 568 | 429 | 476 | 543 | 6,469 |
| 前年度 | 512 | 500 | 486 | 542 | 552 | 449 | 495 | 465 | 449 | 424 | 402 | 458 | 5,734 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 通所介護事業（小規模型） | ○少人数で家庭のような雰囲気の中で、利用者一人ひとりにあった入浴・食事・送迎などの支援や季節にあわせた行事等のサービス提供を行う。○来年度の制度改正に向け、スムーズに移行できるよう検討と準備を進める。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | あったかほーむかせの | ○重度（認知症）利用者の受け入れ認知症の専門性を磨くための事例検討会の開催○生活史を大切にしたデイの実施：昔のことや子どもの頃、季節などを感じることで脳の覚醒を図る○音楽療法を通じての認知症予防と啓発強化○地域事業の啓発と区事業への参加○地域交流事業の実施：夏祭り・クリスマス会・ボランティア交流会・おしゃべり広場の開催○運営推進会議の開催 |
| 事業実績 | 稼働日数：２５８日　実利用者数：2１人　延べ利用者数：1,828人　一日平均利用者数：７．１人　平均介護度１．７○音楽療法の実施（かせの通信にて音楽療法の参加を啓発：問い合わせ1件）○米原市通所介護サービス事業所対象認知症ケア支援事業の指定を受け、自立支援に向けた空間作りと時間の持ち方を検討し、サービス提供に反映させた。○地域交流事業・長岡保育園七夕交流会（7／3）・かせの夏祭り（7／21）ボランティア・赤十字奉仕団の協力　参加者：50人・おしゃべり広場：毎月1回土曜日に開催（７月は除く）・ボランティア交流会（12／25）参加者：25人・加勢野区ハートフルフォーラム参加（2／15）○出前講座：菅江老人会（４／11）、市場サロン（5／29）、志賀谷サロン（6／16）、山室サロン（９／6）、天満サロン1 0／20、万願寺サロン（3／18）○かせの通信の発行（9月）（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 177 | 184 | 173 | 175 | 142 | 157 | 153 | 134 | 144 | 123 | 125 | 141 | 1,828 |
| 前年度 | 134 | 136 | 126 | 153 | 148 | 143 | 156 | 146 | 143 | 151 | 148 | 155 | 1,739 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 東部デイサービスセンターはびろ | ○利用者ごとの機能訓練の実施○子育て支援事業の充実○サロン等の見学の受け入れと交流○重度利用者への対応○地域交流事業の実施：はびろ喫茶店（年４回）・やいとまつりへの協力・餅つき大会の開催（地域のこどもとの交流、地域住民やボランティアとの交流）　 |
| 事業実績 | 稼働日数：２５８日　　　実利用者数：23人　　延べ利用者数：1,420人一日平均利用者数：５．５人　　平均介護度：１．５○子育て支援事業の充実主に山東地域に居住する未就園児の家庭とデイサービスの高齢者との交流活動を実施した。参加者：8組。（5／15、8／7、9／18、12／11、3／27）　＊飛ばした風船により、養老町の保育園児と、手紙の交流が出来た。○地域交流事業の実施　・はびろ喫茶店：４回（5／29、7／31、10／30、1／29）　・やいとまつりへの協力（7／26～27）：やいとまつりにて利用者の描いた絵（障子の大きさ）を街明かり事業に使用された。○出前講座：柏原いきいきサロン（6／11）○介護職員初任者研修への講師派遣：1人（11／23）（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 130 | 119 | 109 | 131 | 121 | 121 | 134 | 116 | 118 | 91 | 99 | 131 | 1,420 |
| 前年度 | 150 | 149 | 122 | 139 | 116 | 107 | 128 | 119 | 122 | 133 | 123 | 137 | 1,545 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | デイサービスセンター寄ろ家うかの | ○認知症の事例を通したケース検討会の実施。○地域との繋がりを大切に利用者ごとに支援する○筋力トレーニング実施による機能低下の予防・維持・向上と、定期的な体力測定の実施による評価○口腔ケアの実施○自治会・福祉会と連携した災害時等支援体制の検討○広報誌などでの情報発信　○地域交流事業の実施：七夕まつり・宇賀野区事業への参加・宇賀野サロン（芋煮会）・ほおずき喫茶・サロンボランティア・作業ボランティアとの交流・ほおずき市参加・西保育園との交流・放課後児童クラブとの交流・子育てサロン○運営推進会議の開催 |
| 事業実績 | 稼働日数：309日　　実利用者数：２６人　　延べ利用者数：２，０９４人一日平均利用者数＊６．８人　　平均介護度：１．９○地域交流事業・七夕まつり（７/５）　参加者：約200人・軽作業ボランティア、園芸ボランティア（１４回）・子育てサロン：イチゴ狩り（５／１７）参加者：７組１９人、さつま芋掘り（１０／１）参加者：１５組１６名、クリスマス会（１２/２３）(参加者：０)・にし保育園との交流会：イチゴ狩り（２歳児：５/１４、３歳児：５/２２）、さつま芋掘り（3歳児：１０/１０）、七夕まつりお礼訪問（９/２９）利用者２人、実習生１人・宇賀野区合同サロンへの参加：花見サロン（４/７）、焼き芋＆芋煮会（１０/２１）住民２７名、ボランティア：９人○地域行事への参加：大川清掃（６月、７月）○地区福祉会活動への出席：長沢区（４/７）、宇賀野区福祉会運営会議（５/２３）、宇賀野区福祉会反省会（３/１９）○出前講座：サンライズサロン（６/８）、舟崎サロン（１１/８）○貸館：５件○広報紙「寄ろ家うかの　かわら版発行」：９月（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 149 | 153 | 145 | 169 | 159 | 166 | 188 | 187 | 194 | 184 | 192 | 208 | 2,094 |
| 前年度 | 195 | 180 | 160 | 174 | 178 | 151 | 180 | 168 | 150 | 149 | 154 | 170 | 2,009 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | デイサービスセンター行こ家のとせ | ○小規模である利点を活かした個別ケアの実施○利用者の嗜好、趣味、得意、不得意を考慮した支援○高齢障がい者のニーズ把握　○障がい研修会の参加と自己研鑽　○ほおずき作業所との連携○運営推進会議の開催○地域交流事業の実施：ひがし保育園・学童・息長小学校・能登瀬サロンとの交流、小規模デイ・通常デイとの交流 |
| 事業実績 | 稼働日数：309日　　実利用者数：31人　　延べ利用者数：２，４９２人一日平均利用者数：８．１人　　平均介護度：１．９○地域交流事業・能登瀬福祉協議会打合せ（4/12）能登瀬福祉協議会（４/17）・息長小学校相撲大会（５/１６）　小学校からの招待により利用者10人が見学　・息長小学校行こ家のとせ見学（５/２６）来所：児童29人　教師2人・秋の収穫祭（10/18）：利用者10人　来場者約100人・ひがし保育園ニコニコパーティー（12/11）へ利用者8名が参加○福祉体験の受入：米原中3年ボランティア体験（生徒3人：10/31）息長小4年ボランティア体験（生徒14人：2/26）○行こ家のとせ運営推進会議：（８/２０、3/17）○地域福祉懇談会等への参加能登瀬区ハートフルフォーラム（1/24） 能登瀬区サロン反省会（3/12）○出前講座：能登瀬サロン（４/17）、能登瀬サロン（７/７）、顔戸サロン（10/5）、能登瀬サロン（10/23）○介護職員初任者研修への講師派遣：1人（１０／２６）○ほおずき作業所との交流：駄菓子販売（毎月第３火曜日）○行こ家のとせだよりの発行：９月、３月○職員研修障がいへの理解研修の開催（９/１１）：訪問介護事業所と合同研修会米原市認知症ケア研究会等の研修への参加（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 228 | 246 | 217 | 230 | 204 | 213 | 212 | 205 | 191 | 183 | 177 | 185 | 2,491 |
| 前年度 | 219 | 229 | 215 | 230 | 228 | 205 | 239 | 221 | 193 | 204 | 209 | 232 | 2,624 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 北部デイサービスセンターきたで～ | ○誰もが安心して利用できる専門的な支援の提供・埋もれたニーズを探し、利用につなげる・デイ利用者家族の見学会○地域とのつながりを大切にしたデイサービスの提供・生きがいがもてるデイサービスの実施（生活史・地域の特性をみる）・地域との連携（地域の地蔵様への前掛け、学校への雑巾等を配布）○地域の暮らしを継続できるように地域づくりのコーディネートをする・自宅訪問（安否確認と地域の方への声かけ）○拠点の活動の周知・サロンへの啓発活動○地域交流事業の実施：クリスマス会、伊吹小学校児童との交流○運営推進会議の開催〇きたで～だより発行（7月） |
| 事業実績 | 稼働日数：２５８日　　実利用者数：１９人　　延べ利用者数：１，５９９人一日平均利用者数：６．２人　　平均介護度：２．５〇月ミーティングにより利用者の状況把握〇地域交流事業　・お地蔵さんの前掛けを手作りし、北部8集落に各10枚配布。　・お地蔵さんの前掛け作り講座（伊吹小5・6年生対象）・伊吹小学校５年生との交流（１１/２８、１２/２２、１２/２４：生徒のべ１８人が来所）・利用者作品展示（滋賀銀行）：９月・クリスマス会（１２／２０）：参加者８名・雑巾作りと小学校への持参〇出前講座：甲賀サロン（７/28）、上板並サロン（２/14）〇きたで～だより発行：7月（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| のべ利用者数 | 158 | 144 | 149 | 156 | 143 | 153 | 146 | 125 | 129 | 89 | 86 | 121 | 1,599 |
| 前年度 | 143 | 139 | 126 | 138 | 118 | 124 | 138 | 150 | 104 | 84 | 95 | 129 | 1,488 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 訪問介護事業 | 誰もが住み慣れた地域で安心して在宅生活が続けられるよう、介護保険での身体介護・家事援助のサービス提供と、既存の制度やサービスでは対応できない内容について制度外サービスで支援する。 |
| ヘルパーステーション山東伊吹ヘルパーステーション近江ヘルパーステーション米原 | ○事業所統合の検討・サービス内容・事業内容の統一・サービスの質の向上に向けての研修強化○気づきメモの充実・気づきメモ活用による支援を必要とする人や地域課題の把握・課題の整理、他機関との連携、新たな制度の提案○制度外ヘルプサービスの啓発・実施・ふれあいよりそいサービスの事業の啓発・実施・制度外ヘルプサービスの拡充検討○緊急時には24時間対応を行う○家族介護の支援（介護ＤＶＤ教材の作成） |
| 事業実績 | ○ふれあいよりそいサービス　・送迎支援：1件　・院内見守り：8件○ちょこっと訪問（９件）：詐欺のチラシ配布啓発○出前講座の実施：計25件【山東伊吹：８件】小田(5/5)柏原(6/4)志賀谷(6/16)上平寺(7/9)藤川(7/14)甲賀(7/28)天満(10/20)健康推進員(12/6)【近江：１１件】いをぎ(4/11)高溝（6/8）舟崎（１１/11）能登勢（１/２４）サンライズ（3/8）男性クッキング（６/１３・６/１６・６/22・１１/25/・１２/1・２/18）【米原：６件】米原（６/８）上多良（６/１９）中多良（９/２７）入江（１１/２３）下丹生（２/５）筑摩（３/１８）○介護職員初任者研修、シルバー人材センター研修会への講師派遣○満足度調査の実施…100名(11月実施）○情報発信：通所事業所（行こ家のとせ、あったかホームかせの）の広報誌での情報提供○職員研修：ボディメカニクス研修（６／１８）○自主研究活動：「真心は気づきから育まれる」滋賀県社会福祉学会にて発表○事業所パンフレット作成（単位：時間） |
| のべ派遣時間 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 山東伊吹 | 732 | 732 | 620 | 548 | 582 | 626 | 673 | 536 | 605 | 511 | 454 | 556 | 7175 |
| 近江 | 534 | 595 | 520 | 474 | 923 | 927 | 948 | 871 | 693 | 503 | 480 | 522 | 7987 |
| 米原 | 750 | 741 | 745 | 802 | 706 | 799 | 446 | 433 | 416 | 430 | 364 | 410 | 7,039 |
| 合計 | 2,016 | 2,068 | 1,885 | 1,824 | 2,211 | 2,352 | 2,067 | 1,840 | 1,714 | 1,444 | 1,298 | 1,488 | 22,201 |
| 前年度 | 1,893 | 2,132 | 1,960 | 2,077 | 2,149 | 2,055 | 2,159 | 2,218 | 2,302 | 2,168 | 1,954 | 2,014 | 25,081 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 小規模多機能型居宅介護事業 | 利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況・希望・環境等をふまえて通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより地域での暮らしを支援する。 |
| いをぎの家 | 〇事業所の活動の周知・広報誌の発行（年4回）・重度化への対応とターミナルケアへの理解を深める。・いをぎの家サロンを開催し、住民の拠点としての活用を推進（年4回）・保育園との交流会に向け利用者の自主的な参加を支援する。○事業者連協、小規模の集い等へ参加・地域との連携の状況など情報交換を行う。・他施設との連携による利用者居住地域の事業を把握。○介護講座（出前講座）等の開催・ふれあいサロンの活動支援と相談活動 |
| 事業実績 | 実稼働日数：３１９日　　1日平均総延べ人数：５．４人○地域交流事業・いをぎの家サロンみんなおいで～：4回（6／1：参加者37人、7/20：参加者65人、11/8：参加者11人、2/22：参加者25人）　・近江ひがし保育園との交流（１２/１１）○岩脇ふれあいサロンに参加：7回（4/11、5/29、7/5、7/12、8/9、12/17、1/22）○岩脇区事業への参加：７回（5/22、5/31、7/6、9/7、10/5、11/1、2/21）○広報誌の発行：４回（5月、7月、11月、2月）○出前講座：4回（岩脇サロン：4/11、12/17、1/22、寺倉サロン：7/25）○介護職員初任者研修への講師派遣：1人（11／９）○運営推進会議の開催：6回（4/18、6/20、8/22、10/17、12/19、2/20）　運営推進委員による一日体験（7，8月）○湖北介護サービス事業者協議会への参加：15回　　（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 | 前年度 |
| 登録者数 | １０ | ８ | ８ | ９ | ８ | ７ | ７ | ７ | ７ | ７ | ７ | ７ | ９２ | ― |
| のべ利用者 | 通い | 143 | 122 | 126 | 124 | 113 | 115 | 121 | 114 | 120 | 99 | 103 | 131 | 1,431 | 1,615 |
| 訪問 | ２４ | １４ | １６ | ２７ | ２２ | ２２ | ２３ | １９ | ２０ | １９ | １９ | ２８ | 253 | 254 |
| 宿泊 | ８ | ８ | ７ | ８ | ７ | ７ | ７ | ８ | ８ | ８ | ８ | ９ | ９３ | 66 |
| 体験利用 | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | 1 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 居宅介護支援事業 | 要支援・要介護 認定を受けた人からの相談を受け、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、他の介護サービス事業者との連絡、調整等を行う。 |
| ケアプランセンター山東伊吹ケアプランセンター米原近江 | ○介護・福祉、医療やその他の生活支援サービス、家族、地域の支えあい活動やボランティア活動等を総合的にマネジメントする。○相談支援者の連携を強化し、関係機関と地域のネットワーク化を図る。　・支え合いネットワークの必要性の啓発　・利用者や家族に対しての地域支援受け入れの働きかけ・絆バトンの普及啓発、災害時要援護者支援体制の構築○介護者OB会の開催 |
| 事業実績 | ○気づきの事例検討会の開催　２回○介護者ＯＢ会の開催○介護職員初任者研修への講師派遣：1人（１２／２）（単位：件） |
| 給付管理 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 山東伊吹 | 132 | 138 | 134 | 136 | 128 | 125 | 128 | 125 | 128 | 113 | 108 | 108 | 1,503 |
| 米原近江 | 166 | 162 | 166 | 167 | 158 | 156 | 160 | 152 | 149 | 142 | 137 | 139 | 1,854 |
| 合計 | 298 | 300 | 300 | 303 | 286 | 281 | 288 | 277 | 277 | 255 | 245 | 247 | 3,357 |
| 前年度 | 302 | 309 | 294 | 297 | 291 | 304 | 302 | 300 | 294 | 281 | 279 | 282 | 3,535 |

**（３）障がい者福祉サービス**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 障がいのある人が、地域社会の一員として、地域で働き、暮らしていけるよう、関係機関と連携しながら、生活支援や就労支援に取り組みます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【重】相談支援機能強化事業（米原市・長浜市委託事業） | ○湖北しょうがい者相談センター「ほっとステーション」へ職員を派遣し、障がい者相談センター受託に向けて体制を整える。○特定相談支援事業（サービス等利用計画の作成）の、２７年度全面施行に向けて体制を整える。 |
| 事業実績 | ほっとステーションへ職員を派遣するとともに、２７年の４月の相談支援事業所開設に向けての準備を行った。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 居宅介護事業（障がい者ホームヘルプサービス） | 住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができるように身体介護や日常生活の援助を行う。 |
| 支援センター山東伊吹支援センター近江支援センター米原 | ○障がい者相談センターや地域などと連携し、障がいに応じた専門的な支援を行う。○障がいに対するケアの専門的知識を高める為に研修の強化を図る。 |
| 事業実績 | ○地域担当職員・各関係機関・ほっとステーション（障害者相談支援センター）と連携を図りながら支援を実施した。○満足度調査の実施…23名（11月実施）○外部研修への参加（同行援護従事者研修・行動援護従事者研修）　・行動援護（近江1人）　　・行動障害（米原１人・山東伊吹１人・近江１人）・精神障害（米原４人）（単位：時間） |
| のべ派遣時間 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 山東伊吹 | 167 | 171.5 | 168 | 161 | 172.5 | 155.5 | 171.5 | 162.5 | 171 | 170 | 160.3 | 186 | 2016.8 |
| 近江 | 103.4 | 122.5 | 55.4 | 57.8 | 79.8 | 63.8 | 60.3 | 59.4 | 61.8 | 67.2 | 65.4 | 84.7 | 881.5 |
| 米原 | 225 | 225.3 | 213.5 | 267.5 | 126 | 221 | 240.5 | 221 | 117 | 98 | 126.5 | 117 | 2198.3 |
| 合計 | 495.4 | 519.3 | 436.9 | 486.3 | 378.3 | 440.3 | 472.3 | 442.9 | 349.8 | 335.2 | 352.2 | 387.7 | 5096.6 |
| 前年度 | 545 | 584 | 524 | 580 | 557 | 503 | 646 | 568 | 524 | 508 | 529 | 563 | 6,631 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 就労継続支援Ｂ型事業 | リサイクルショップや喫茶、駄菓子、花苗の販売、下請け作業などを通して利用者の就労の機会や生産活動の機会を提供するとともに就労の支援や社会参加の機会を提供する。 |
| ほおずき作業所 | ①障がい者が主体的に関わる地域の拠点づくり。・人、街づくりプロジェクトの開催（運推）・ほおずき市の開催（４月２６日）・売上アップ委員会の充実・移動販売車の活用（アンテナショップ）移動販売（日用品含む）による買い物支援の拡大・サポーターの養成と関係機関連絡会議の開催・ボランティア活動のメニュー化②地域活動への参加や新しい授産事業の開発の検討③適切な生活形態を考慮した移行支援（一般就労等）　施設外（企業内）就労への取り組み④地域雇用創出の検討⑤企業などへの受け入れの働きかけ⑥運営推進会の開催 |
| 事業実績 | ○ほおずき市（４／２６）参加者数：延べ１５００人　参加団体：９団体○施設外就労（４８７回：行政、企業）の実施○売上アップ委員会の開催と近隣清掃作業（月１回年１２回開催）○リメイク教室の開催（年3回）：地域のサポーターの協力により実施した。○音楽療法教室（年3回）：福祉拠点活用した取り組み。○出前喫茶（1１回）　　　　　　○移動販売（８８回）○もったいない市（１１/１）　　○共同作業日（９／３０）○NHK歳末助け合い助成事業（12／４・５・６）○米原市歳末たすけあい募金配分金事業（１/１１４）○企業などへの受け入れの働きかけ（地域障害者就職説明会１回参加）ハローワーク等と連携し就労希望されている方への情報提供○ボランティア活動（年間のべ１３１人、広報誌発行1回）○運営推進会議の開催年2回開催（１１月２０日、３月１０日） |
| 実績 | 前年度 |
| 開設日数 | 256日 | 256日 |
| 利用者実人員 | ２６人 | 24人 |
| 就職者数 | 0人 | 1人 |
| のべ利用者数 | ５,４４５名 | ５,１００人 |
| 施設外就労（企業内作業） | ４８７回 | ７４回 |
| リメイク教室 | ３７人 | ３回　３８人 |
| 音楽療法 | ６８人 | ３回　７１人 |
| 出前喫茶 | １１回　１９１人 | １４回　１７６人 |
| 移動販売 | ８８回 | ５９回 |
| 来客者数 | のべ１２,７１１人 | のべ１２,５７６人 |
| 年間ボランティア活動者数 | のべ１３１人 | のべ１２６人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 地域生活支援事業 | ○外出時の同行介助などを行い、障がいのある人の自立した日常生活を支援する。　・移動支援事業○働く場と余暇の場を適切に分離し、障がいのある人の社会性の維持・向上をめざす。・日中一時支援事業実施の検討 |
| 事業実績 | ○移動支援事業：通学支援、作業所への送迎、余暇活動など社会参加のためサービス提供した。提供時間数：延べ９５７時間（単位：時間） |
| のべ時間数 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 山東伊吹 | 0 | 2.0 | 1.0 | 5.0 | 2.0 | 4.0 | 2.0 | 4.0 | 4.0 | 2.0 | 2.0 | 4.0 | 32 |
| 近江 | 25 | 27.5 | 26 | 26.5 | 4.5 | 26 | 28.5 | 28 | 16 | 22.5 | 23 | 14.5 | 268 |
| 米原 | 93.5 | 51 | 57 | 81 | 55.5 | 49.5 | 60 | 55.5 | 31.5 | 28 | 49.5 | 45 | 657 |
| 合計 | 118.5 | 80.5 | 84 | 112.5 | 62 | 79.5 | 90.5 | 87.5 | 51.5 | 52.5 | 74.5 | 63.5 | 957 |

**（４）子育て支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 親や家族、地域や関係機関が連携しながら、子どもの成長を促す様々な体験や交流・つながりづくりの場を創設するとともに、主体的な活動へ発展するよう支援します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 子育てサークル育成・支援 | ○子育てサークル育成講座の開催　・健康推進員や子育て支援センターとの連携　・既存サークルの情報交換会の開催○地域福祉懇談会への参加　・地域における子育て環境についての意見交換 |
| 事業実績 | ○健康推進員や地域のボランティアとの連携を図りながら、年２回の『こもち～ズ広場』を開催し、子育てサークルが１グループ立ち上がった。・「春講座（5回シリーズ）」（テーマ：足育）　参加者：6組13名　・「秋講座（5回シリーズ）」（テーマ：食育）　参加者：5組10名○子育てサークルを対象に、地域ボランティアとの交流事業を実施した。　・芋ほり体験　＊参加者：１８組３９名 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 遊びの広場 | ○各拠点での遊びの広場（子育て中の親同士、子ども同士の交流および情報交換の場）の開催　（愛らんどキッズ、おもちゃ図書館、おもちゃであそぼ、親子ふれあい広場） |
| 事業実績 | ○子育て中の親や子どもの交流、情報交換の場として遊びの広場を開催した。　＊開催回数：５６回　＊参加者数：延べ372名 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 孫育て支援 | ○孫育てサロンの開催・祖父母同士の交流、現代における子育て観の共有 |
| 事業実績 | ○祖父母同士の交流、現代における子育て観を共有する場として孫育てサロンを開催した（3回）＊開催日：５/１９、６/２、６/１７＊参加者数：延べ61名＊内容：足育 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 子ども一時預かり事業 | ○家庭や地域の用事、リフレッシュ時の一時預かりを行い、安心して子育てができ、親子がいきいきと生活できるよう支援を行う（寄ろ家うかのにて実施） |
| 事業実績 | ○利用件数：延べ３件※利用問い合わせ：２件 |

**（５）放課後児童クラブ**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 地域住民や保護者との関わりを深め福祉理解を図るとともに、地域との連携を築きながら児童の健全な育成をめざします。　また、市内の他のクラブとも連携し、共に研修・研鑚を重ね、全体の質の向上をめざします。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 放課後児童クラブ（市委託事業）げんきッズ坂田げんきッズ息長 | ○地域住民、ボランティア、各種団体を巻き込んだ事業の企画と展開○保護者会との連絡会議の開催、事業協力○行政と連携した研修計画の立案と開催 |
| 事業実績 | ○地域住民、ボランティアや異世代、他クラブ他各種団体等との交流事業を実施した。・新春お茶会の実施（4/3～4）　　　　・お家笑里クラブとの交流（8/5）・ひがし保育園との交流（息長8/5）　 ・げんきッズクリスマス会（12/22）・行こ家のとせクリスマス会（息長12/25）・ボランティアとの交流：夏まつり、手作り昼食会他（4/2、7/31、8/8、8/19、8/21、8/22、8/25、8/26）○社会学習：消防署見学（7/24）○学校との情報交換を行い、子どもへの対応について共有した。○保護者会と協力し、施設の環境整備に取り組んだ（8/23、8/24）○保護者会活動：役員会、書面による議決、総会、新規入会者への説明 |
| げんきッズ坂田　　　　　　　　　　　　　　（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 開設日数 | 25 | 25 | 25 | 26 | 23 | 24 | 26 | 23 | 23 | 23 | 22 | 25 | 290 |
| 利用実人員 | 55 | 43 | 42 | 73 | 74 | 42 | 41 | 43 | 54 | 52 | 39 | 57 | 615 |
| のべ利用者数 | 727 | 652 | 717 | 925 | 932 | 680 | 670 | 577 | 677 | 593 | 534 | 726 | 8,410 |
| 前年度のべ利用者数 | 471 | 437 | 408 | 532 | 550 | 363 | 421 | 393 | 420 | 353 | 339 | 416 | 5,103 |
| げんきッズ息長　　　　　　　　　　　　　　（単位：人） |
| 実績 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 開設日数 | 21 | 20 | 21 | 22 | 19 | 20 | 22 | 18 | 19 | 19 | 19 | 22 | 242 |
| 利用実人員 | 27 | 22 | 22 | 42 | 40 | 21 | 20 | 20 | 29 | 28 | 20 | 32 | 323 |
| のべ利用者数 | 317 | 323 | 341 | 455 | 490 | 320 | 326 | 261 | 318 | 308 | 308 | 421 | 4,188 |
| 前年度のべ利用者数 | 314 | 296 | 305 | 410 | 357 | 274 | 361 | 327 | 334 | 310 | 278 | 314 | 3,880 |

**（６）生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 低所得者や高齢者・障がいのある人等に対し、継続的な相談援助と資金の貸し付けやその他の制度の活用等を通じて、生活の維持・安定、経済的自立に向けた支援を行います。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 生活福祉資金貸付制度（県社協委託・補助） | ○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付（県社協からの受託）　・総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付○貸付事業モデル事業を受け、個別ケースに対する支援方策を充実させる |
| 事業実績 | ○新規貸付件数：８件モデル事業を通じて貸付け中のケースに継続した相談支援を実施。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 一時援護資金貸付事業 | ○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付○個別支援ケース会議の開催 |
| 事業実績 | ○フードバンクや他の事業との連携を図りながら、継続的な相談支援に努めた。貸付件数：５４件○滞納者に対しては督促状の発送や居住地調査、民生委員からの情報をもとに、状況の把握を行った。 |

**（７）介護予防事業**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 生活習慣（食生活・運動など）改善の啓発を行うとともに、福祉活動拠点との連携による介護予防運動プログラムを実施します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 高齢者筋力向上トレーニング事業○近江いきいき健康館（市指定管理） | ○筋力向上トレーニング（相談、フォローアップを含む）（週3日）　○体験教室の開催○出前型トレーニング教室の開催○トレーニングサポーターの養成 |
| 事業実績 | ・開催回数：３０６回　登録者36人　利用者：延べ1,519人・体験教室随時開催：3件・出前型トレーニング教室の開催：きらめき健康教室（7/26）、きらめきウォークラリー（9/28）・出前型健康講座の開催：（3/19）上野老人クラブ・「楽トレ事業」の実施に向けた準備：住民説明会（2/24）、インストラクターVTR作成 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | ○きらめきステーション（自主）【新】 | ○きらめき筋トレマシンの地域開放（一般住民対象）・筋トレマシン教室の開催（4月）　・自主活動の支援 |
| 事業実績 | ○楽トレ事業　きらめき健康教室・定期筋トレマシン講習会：（開催日）毎月第３木曜日　楽トレメンバー登録者：５０人　　　筋トレマシン利用者：延べ４３２人・健康教室及び体力測定会：３回　筋トレマシン活用方法（４/１９）参加者：２８人　　　簡単エクササイズ体操（７/２６）参加者：１１人リフレッシュヨガ教室（11/16）参加者：２０人　○健康麻雀サロン事業：毎月第2火曜日　　＊麻雀大会（８/１９） |

**（８）その他の生活支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 　既存の制度やサービスでは支えきれない生活ニーズに対し、新たなサービスを企画・実施し、支援を必要とする人の生きがいを高め、日常の生活を支援します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 外出支援サービス事業（市委託事業） | 公共の交通機関が利用できない人を対象に、リフト付き車両（福祉車両）を使用し、医療機関等への送迎を行う。 |
| 事業実績 | ○関係機関、福祉サービス事業所等と調整しながら、サービスの提供を行った。○高　齢：695件（前年度　790件）○障がい：364件（前年度　461件） |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 24時間預かり事業 | ○なじみ安心事業（※市補助事業）○緊急預かり事業　・介護者に緊急事由が生じた場合の介護、預かり |
| 事業実績 | ○なじみ安心事業：２件あったかホームかせの：１件寄ろ家うかの：１件 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 高齢者生きがいバス運行業務（市委託事業） | 高齢者の生きがいづくりのために開催される講座やふれあい交流事業等福祉活動の実施に伴う送迎を行う。 |
| 事業実績 | ○利用件数：延べ２５７件　３，２２９人　・サロン活動：８４件　　１，５３８人　　　・団体活動：２９件　　　　　４６５人　・施設利用：137件　　 １，０８７人　　　・その他：7件　　　　　 　139人 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【新】生活困窮者物資提供事業 | 制度やサービスを利用するまでの期間や、制度やサービスでは対応できないなどを理由に、生活に困窮している人を対象に、地域で不要になったものを集めるとともに善意銀行の活用により、必要な物資を確保し提供することで地域での生活を支援する。 |
| 事業実績 | 物資寄付件数：４９件善意銀行からの物資調達：１６，７８４円支援実人員：２７名　　支援回数：延べ６４回 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 【新】ふれあいよりそいサービス | ○制度外サービスの実施・既存の制度やサービスでは支えきれない生活上のニーズに対し、サービスを提供することで、その人の生きがいを高め、生活を支援する。・職員を派遣し、外出時の支援等、個別のニーズに対応する。 |
| 事業実績 | ・送迎支援：１件　ヘルパーステーション米原・院内見守り：８件ヘルパーステーション山東伊吹 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | その他事業 | ファミリーサポート事業の検討 |
| 事業実績 | ○平成27年度の事業実施（市委託事業）に向け、運営要領を作成した。 |

**４．災害に強いまちづくり活動**

**（１）災害支援体制の構築**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 災害時の支援活動について協議する場を設定し、それぞれが果たす役割の整理や情報の共有を行います。また、関係機関、福祉事業者等と協働し、地域防災計画に基づく個別避難支援計画の作成に向けた地域の取り組みを支援します。さらに、各事業所が、災害時の利用者の安否やサービス連携について確認し、被災状況に応じたサービスを速やかに提供できる体制を整備します。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 災害時支援の連携構築 | ○福祉事業者協議会における災害対策に関する協議　・地域と事業者との連携および支援調整　・利用者の安否確認やサービス連携　・被災状況に応じたサービスの提供方法、サービス再開○サービス事業所ごとの災害時対応マニュアルの作成○地域における個別避難支援計画の作成支援 |
| 事業実績 | ○個別避難支援計画の作成に関する提案を行い（５自治会）、１自治会において実際の取り組みにつながった。○ヘルパーステーション（山東伊吹・米原・近江）においてマニュアルを整備 |

**（２）小地域における災害対策支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 関係機関・団体等と連携・協働し、小地域における災害時要援護者支援体制づくりに向けた支援を行います。特に、災害時における見守り・支え合い活動への参加意識を高めるための取り組みや、見守り・支え合い活動と要援護者情報との整合を図るための取り組み、把握された情報に基づく訓練の実施や体制および活動の点検・見直しに関する取り組みについて、具体的な方策の提案を行います。また、災害時における支援体制を平常時の見守り・支え合い活動へつなげるための啓発を行うとともに、具体的な見守りの視点と方法について提案します。さらに、サービス利用者等の安否確認が、地域における災害時支援体制に組み込まれ、災害時の安否確認情報が的確に伝わり、実際の支援に結びつくよう、地域と各事業所との連携・協働のための仕組みづくりを進めます。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 福祉マップの作成・更新支援 | ○災害時要援護者支援体制づくりに関する検討の場づくり（地域福祉懇談会）　・福祉マップの作成や更新に関する情報提供　・作成、更新のための研修会の企画、実施　・地域における個人情報取り扱いのルールづくり　・支援者間での情報や取り組みの共有化 |
| 事業実績 | ○福祉マップの作成や更新、平常時の見守り体制構築に関する情報提供、働きかけを行った。　　新規：１地域　　　　更新：11地域　　　　　更新啓発：８地域 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 啓発活動 | ○災害時支援体制づくりに向けた住民啓発（地域福祉懇談会等）　・災害時要援護者登録制度について　・地域の支援体制づくりについて　・助けられ上手になるために　・災害時支援体制の日常の見守り・支え合い活動への展開について○避難所の運営について　・自治会等へ向けた出前講座によるＨＵＧ（避難所運営ゲーム）の体験○各事業を通じた要援護者登録への働きかけ　（地域福祉懇談会・サロンでの啓発、各事業・サービスを通じた啓発、広報での啓発） |
| 事業実績 | ○地域福祉懇談会や福祉会において、災害時支援・対策に関する情報提供や提案を行った。住民参加の方法として、HUG（避難所運営ゲーム）を活用した懇談会や研修会を実施した。（１９地域）○ホームヘルパー、ケアマネジャーによる要援護者登録再更新の声掛けを行った。 |
| 事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 豪雪時除雪支援事業 | ○除雪ボランティア派遣事業の実施・関係機関との事前調整　　　・事業周知とボランティアの募集・対象地域との活動調整、派遣体制の整備（対象地域の状況把握と支援内容の確認）○冬季の活動受け入れを円滑に進めるための交流事業の実施（夏季）○大学、企業、団体へのアプローチ○県災害ボランティアセンターとの連絡連携 |
| 事業実績 | 積雪状況により派遣実績：なし |

**（３）災害ボランティアセンターの設置運営**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 被災者が抱える問題と活動ニーズとが的確に調整され、災害時に必要となる新たなボランティア活動の創設や地域との連携など、円滑な運営のための人材の養成と体制の整備を行います。 |
| 　事業名 | 内　　容 |
| 事業計画 | 災害ボランティアセンターの設置運営 | ○設置・運営訓練の実施とマニュアルの見直・点検　・市民、関係機関、事業所が参加する机上訓練の実施　・課題の集約と検証○運営サポーター養成講座の開催　・災害ボランティアセンターの機能と役割について　・模擬運営 |
| 事業実績 | ○災害ボランティアセンター運営サポーター養成講座の開催（2回：9/21、23）　　参加者：66名　　サポーター登録者：27名○災害ボランティアセンター運営サポーターミーティングを開催（１２/２７）参加者：１３名○米原市総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施。（１０/５）参加者：１６名（＊運営サポーター５人、ボランティアセンター運営協議会委員４人を含む）○運営サポーターの地域の防災出前講座への調整（6件）　 |

**５．推進体制の充実・強化**

**（１）評議員会・理事会の運営**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 地域の実情や福祉に関する社会情勢を把握し、事業運営の進捗管理を行うとともに、法人運営の安定と発展に向けた方策、地域のニーズに応える事業展開について協議・検討します。 |
| 事業計画 | ○評議員会の開催（年3回）○役員研修の実施○理事会の開催（年６回）○理事委員会の開催（年３回）・会員会費制度、役員選出方法、担当理事制などの検討 |
| 事業実績 | ○評議員会：５回（事業計画・予算・事業実績・決算の承認、定款の変更等）○理事会：６回（諸規程の変更、事業計画・予算・事業実績・決算の承認等）委員会の開催：総務地域福祉委員会５回、在宅生活支援委員会６回役員研修：４回　 |

**（２）情報公開と監査機能の充実**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 公開されるべき情報を広く市民に公開し、社会福祉協議会の透明性と公共性を確保します。また、事業や予算執行の監査、執行機能の評価を行うとともに、内部チェック機能を強化し、事業の公正性を保ちます。その中で、事業利用者の利害関係についての適正化に対する監査を実施します。 |
| 事業計画 | ○情報公開規程の整備○内部チェックの実施　・監事からの監査項目の確認、職員監査報告の実施・権利擁護に関する事業の監査○外部監査の実施○苦情相談委員会（第３者委員会）の開催（年２回） |
| 事業実績 | ○監事会：第1回（5/19）H25年度事業及び決算会計監査　　　　　第2回（11/17）H26年度上半期（４月―9月末分）事業・会計監査○外部監査として、税理士事務所による会計処理の確認を実施。（随時）○福祉サービス解決事業：苦情解決第3者委員の設置（6名）・苦情相談委員会（6/16、12/15）苦情内容の報告（25年度下半期・2６年度上半期）と意見交換○福祉サービス苦情対応研修会（県社協）へ参加（9/８：２名） |

**（３）会員・会費制度の検討**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 社会福祉協議会の位置づけと公共性を確立するための会員・会費制度の具体化について検討し、市民や会員に対して、社会福祉協議会の存在意義や会員・会費について理解を図ります。 |
| 事業計画 | ○組織構成会員制度の導入に向けた検討○啓発資料（パンフレット）の作成 |
| 事業実績 | ○区長・民生委員児童委員等合同説明会での普通会員（会費）の説明と依頼○住民向け啓発チラシの内容を刷新 |

**（４）財政の健全化**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 補助金・委託金・会費・共同募金・寄付金等の充実を図るとともに、新たな財源の確保に努めます。さらに、財源・資金活用のルール化を進め、財源充当の明確化と適正化にも取り組みます。また、介護・福祉事業を実施することで生じた収益を、新たな地域福祉事業開発のための資金として活用していきます。 |
| 事業計画 | ○事業スポンサー（目的別の寄付・共同募金）の検討と取組○善意銀行の有効活用○行政担当部署との連携（地域福祉推進に向けた予算要望（サマーレビュー）） |
| 事業実績 | ○共同募金の新たな募金手法に関する内部研修（役職員）（７/４）○米原市とのH27年度予算に向けての打合せ会議（7/29）と要望書の提出○赤い羽根寄付つき自動販売機の地域活動団体との共同設置：1台 |

**（５）各種積立金の適正化**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 事業の安定的運営や地域福祉事業の開発を促進するため、目的別に積み立てを行います。 |
| 事業計画 | ○経営安定化積立金（目標額８４,０００千円）○施設整備費積立金（目標額４６,０００千円）○車輛購入積立金　（目標額１３,０００千円）○事業開発積立金　（目標額２０,０００千円） |
| 事業実績 | ○車両購入にかかる積立金の取り崩し　　計1,842,000円○各積立金への積立　計11,341,000円　（内訳）取崩累計額に対する積戻し：3,341,000円　　　　　目標に対する新規積立：8,000,000円○各積立金の年度末累計額　・経営安定化積立金　81,168,000円　　・施設整備費積立金　38,000,000円　・車輛購入積立金　　10,823,000円　　・事業開発積立金　　15,000,000円 |

**（６）人材育成・活用システムの確立**　【重】

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | キャリアパス・研修制度を充実し、専門職としての資質の向上に努めます。職員自身の求められる資質が確認できるよう評価制度を確立するとともに、職員の働きがいと専門性が高められるよう、処遇の公平性の確保を図ります。 |
| 事業計画 | ○研修制度の充実・階層別研修カリキュラムに基づく研修計画の作成と実施・研修報告会の設定・自主研修グループの支援（専門分野ごとの研究費用の助成と研究発表の場の設定）○評価制度の確立　・業務目標管理制度の充実　・職務表の作成・人事考課制度の導入○処遇制度の見直し　・職責や専門性に応じた給与体系の見直しと労働環境の整備。（給与・各種手当・賞与算定基準・昇格昇給基準・職務表・有給休暇取得奨励） |
| 事業実績 | ○研修計画制度の充実　・階層別研修課程、事業別研修課程、新任研修課程、定期研修課程、専門職・資格別研修課程を運用※定期研修の実施：職員全体研修（4/11）、接遇研修（7/31）、人権研修（8/18～31・3/8）、普通救命講習（10/７、10/10、10/17）※他事業所職員の受入、衛生管理研修（2/10）・自主研究活動：参加数：18グループ　　　　自主研究発表会：11/21滋賀県社会福祉学会での発表：２事業所○評価制度の確立　・業務目標管理の実施○処遇制度の見直し：就業規則及び給与規程の見直しH26年度実施：職員昇格基準の一部見直し、パート職員の基本給の改善、看護職員の給与・手当の改善H27年度実施：非正規職員への賞与の支給、常勤臨時職員の准正規職員への統合准正規職員の昇給期間の延長と給与額の改善、正規職員の給与表の変更准正規職員の休日数の変更（年間１２１日から11５日） |

**６．事業評価・進捗管理**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　標 | 目標の達成度と効果・成果を客観的に評価し、積極的に新たな課題に対しても取り組みを進めます。また、事業の実施にあたっては、各種計画と連動させ、単年度事業計画との整合を図りながら取り組みます。 |
| 事業計画 | ○あり方検討委員会を開催し、米原市社会福祉協議会地域福祉活動推進計画に基づく事業の方向性を確認する。　○市と協働し、「まいばら福祉のまちづくり計画（第1次地域福祉計画・第2次地域福祉活動計画）」の進捗管理を行う。・地域福祉懇談会、団体連絡会議、福祉事業者協議会、各事業運営協議会等を通じ、計画実施における課題の整理を行うとともに、取り組みの検討を行う。・各方面での検討を集約し、全体評価につなげる。 |
| 事業報告 | 米原市社会福祉協議会地域福祉活動推進計画に基づく事業進捗確認の実施（年3回）および、推進計画に基づくH27年度事業計画を策定した。 |

**７．その他の活動**

１．関係機関との連携・提言活動

・米原市健康福祉部との意見交換会（5/15）

・米原市議会健康福祉常任委員会との懇談会（6/４）

・市長とのランチミーティング：3回

２．表彰・感謝

　　米原市社会福祉大会の開催に合わせ、社会福祉の増進に貢献された方や団体を表彰し、感謝の意を伝えた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（敬称略・順不同）

　○表彰　【地域団体】

　　　　　　・西山区　　　　・高番区　　　・枝折区　　　　・高溝区

　　　　　【ボランティアグループ】

・プーさん　　　　　　　　　　・愛の手ボランティア

・レイカ２８銭太鼓　　　　　　・ほのぼのクラブ

　　　　　【民生員児童委員】

　　　　　　・烏脇地区　鹿取　由弘　　　　・三吉地区　亀田　友子

・上丹生地区　清水　理男

　○感謝　【善意銀行への寄付者】

・株式会社フタバヤ　　　　　　　・株式会社フタバヤ睦会

・三菱樹脂労働組合山東支部　　　・扶桑工業株式会社

・日比　たつ　　　　　　　　　　・匿名（２件）

　　【永年特別会員】

・柴田医院　　　　　　　　　　　・エクシブ琵琶湖

・古澤税理士事務所　　　　　　　・松原歯科医院

・有限会社合同製作所　　　　　　・岩崎産業株式会社

・株式会社横田製作所　　　　　　・株式会社三原モータース

・大沢ホールディングス株式会社

３．日本赤十字社事務局・赤十字奉仕団支援

　　日本赤十字社滋賀県支部米原市地区事務局として、事務執行と災害等における救援物資の手配や赤十字奉仕団の活動の側面的な支援を行った。

　　・社資の募集：合計6,673,300円（法人社資118件640,000円を含む）

　　・火災時の救援物資手配　１件

　　・赤十字奉仕団地区委員会　７回

　　・米原市地区赤十字奉仕団一日研修会（10／28）　参加100人

４．米原市共同募金委員会事務局

　　滋賀県共同募金会米原市共同募金委員会として赤い羽根共同募金運動・歳末助け合い募金運動の展開における事務及び募金活動を執行した。

【募金実績額】　　赤い羽根共同募金　　7,688,101円

歳末助けあい募金　　4,013,766円

５．歳末たすけあい募金配分事業

　　共同募金の一環として地域住民や民生委員児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体との協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の理解を得て様々な福祉活動に重点的に配分した。

○個別配分　　計882件　2,646,000円

　　　・ひとり暮らし高齢者　　　446件　　　　・身体障がい児者　　 　 140件

　　　・知的障がい児者 84件　　　　・精神障がい者　　　 　 39件

　　　・ひとり親世帯　　　 113件　 　　・低所得者世帯　　　 　　60件

○事業所配分　　　　 　3５事業所 　計1,030,000円

○当事者団体配分　　　　　 　 ４団体 　　計80,000円

○地域福祉事業　　　　　　　　3件　　　　　計70,000円

６．関係機関への参画

○米原市介護保険運営協議会委員

○滋賀県共同募金会広域事業検討委員

○地域お茶の間創造事業検討委員

○滋賀県社会福祉協議会評議員

○医療・福祉連携会議発起人

○社会を明るくする運動・米原市地区実施委員

○米原庁舎整備検討委員

○いじめ協議会委員

○民生委員児童委員推薦委員

○米原市人権総合センター運営協議会委員

○男女共同参画懇話会委員

○医療福祉を推進する湖北地域協議会委員

○米原市交通指導員

○米原市立かなん認定こども園運営委員会委員

○息郷地域総合センター三吉会館運営協議会委員

○米原安全運転管理者協会理事

○米原市人権教育推進協議会　企業・事業所活動部会員

○湖北地域しょうがい者相談センター第三者委員（ほっと）

○市人権尊重のまちづくり審議会委員

○米原市福祉有償運送運営協議会委員

○米原市地域公共交通会議委員

○米原市健康づくり推進協議会委員

○子ども・子育て審議会委員

○滋賀県社会福祉学会推進委員

○縁創造実践センター企画員・推進員

○地域から医療福祉を考える湖北地域懇話会委員

○米原市地域包括支援センター運営協議会

○権利擁護委員会・権利擁護システム構築に関する部会委員

○湖北地域しょうがい者相談センター苦情解決の第三者委員

○長浜米原地域生活福祉・就労支援協議会

○米原市高齢者虐待防止ネットワーク会議委員

○湖北介護支援専門員連絡協議会理事

○米原市主任介護支援専門員連絡会委員

○滋賀県社協職員連絡会幹事

○米原市青少年育成市民会議（山東・伊吹・米原・近江）支部評議員

○湖北地域介護サービス事業者協議会副会長、通所介護部会副部会長

○米原市障がい者計画等策定委員会委員

○米原市スポーツ推進審議会委員

○NPO法人ひだまり理事、運営推進委員